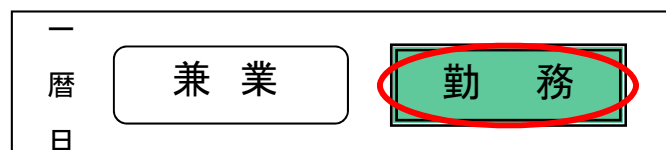
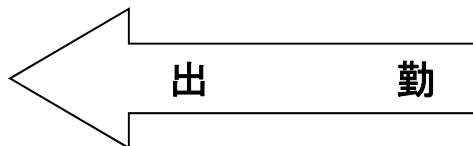
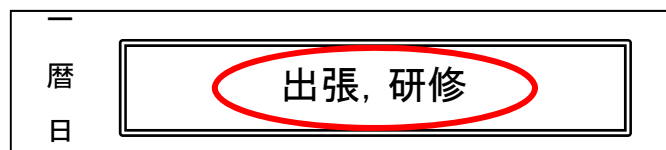


○兼業と出勤の扱いについて(裁量労働制の場合)

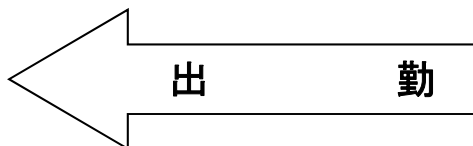
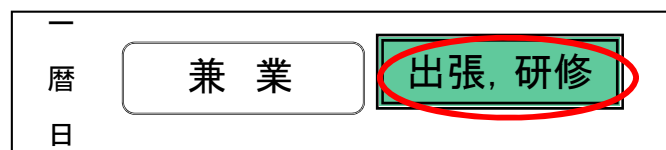
※国の兼業については本務扱いできなくなりました



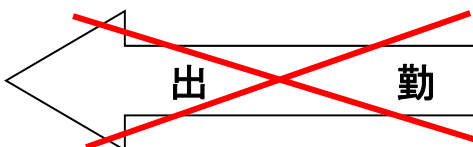
兼業に従事する場合でも、大学で勤務する時間がある場合には、1日勤務していなくても、みなし労働時間が適用され、1日出勤扱いになります。



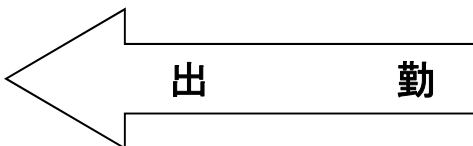
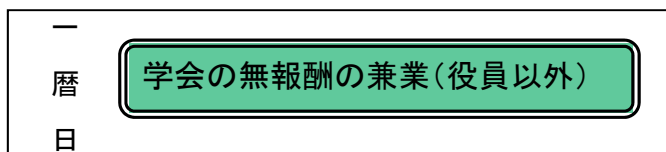
あらかじめ所属長の承認を得て行う出張, 研修については、大学に出勤しなくても1日出勤扱いになります。



兼業に従事する場合でも、同一日に出張等の承認を得ていれば、大学に出勤しなくても、その出張等についてみなし労働時間が適用され、1日出勤扱いになります。



兼業に従事することにより、全日にわたって勤務しないときは、みなし労働時間の適用はなく、**年休や週休日の振替の手続きが必要です。**



学会の無報酬の兼業(役員以外)に従事することにより、全日にわたって勤務しないときでも、旅費先方負担の出張や学外研修の手続きをすることにより、みなし労働時間が適用され、1日出勤扱いになります。

■休暇の単位について

実際の労働時間の長短にかかわらずみなし労働時間が適用されることから、休暇の単位として1時間や半日は存在せず、すべて1日となります。